

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ありんこるーむ戸北				公表日	2025年 3月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動（運動遊びなど）によっては狭く感じることあり、活動内容を工夫して取り組んでいます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・机上課題をマンツーマンで行えるように配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・活動（静と動）によって使う部屋を分けています。	・バリアフリーではありませんが現在困りや危険につながっていません	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎朝トイレ・靴箱の清掃、送迎後全部屋の掃除をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・空いているスペースを個別で利用したり、パーテーションを使用して個別の空間を確保しています。	・クールダウンできる完全な個室がないため、検討しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・全員で一人一人の様子について振り返り、目標について話す時間を設けています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・ご意見等、真摯に受け止め、今後の活動に活かしていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・個別面談を年に2回程設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			(外部からの評価を受けていません)		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			・法人内の研修だけでなく、当事業所に必要な研修を行うため、年間計画を立てています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。				・3月末に公表します	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			・定期的な面談を行うなど、より良い計画・支援につなげていきたいと思っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・全員で、目標の達成度、課題、次のステップ、支援方法について話し合いをしています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		カンファレンスの際に、個々の目標の確認を行い、支援の振り返り、必要な支援について話し合っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・各グループに必要な流れと、活動内容を話し合い、決めています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・同じ活動が続かないよう、活動の順番の入れ替えなど工夫しながらプログラムを立てています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・基本的には行っていますが、バタバタしているときは細かな打ち合わせができていないときもあり、前日までの話し合いを確実に行うようにします。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・よかった点や、工夫した方がよい点等話し合い、次の活動につなげています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・話し合ったことは記録に残しています。気になる行動に対し、どう対応・支援するかを話し合い、次の支援につなげています
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・事業所内でモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・モニタリング会議だけでなく、送迎時に園の先生と情報を共有しています。 ・必要に応じて、支援会議を開催や、園訪問を行い、支援の共有をしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者さんと一緒に学校見学を行い、また入学前の就学時連絡会に参加し、情報共有をしています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・利用児が就園しているため、日ごろから交流があると捉え、機会を設けていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・主に連絡帳やラインでやり取りをしています。特に気になることがあれば、電話や来所していただき、お話しする場を設けています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・研修会の情報提供は行っています。 ・事業所開催の研修会が開けていない、また開いても参加者が少ないため、内容や時期を検討し、参加してもらえよう工夫します。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・親子療育やモニタリング会議で行うことが多く、個別に面談等も行いたいと考えています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・親子療育の際に、保護者同士の交流ができるようにしています。	・親子療育ではゆつくり話す時間が少ないため、時間の確保をしたいと思います。 ・保護者が参加する活動を開催できなかったため、次年度は計画的に取り組み、家族参加ができるような内容を考えています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		・定期的にお便りの発行ができていませんでした。1月からInstagramで活動の様子を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・難しい環境にあり、検討が必要です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			(食事の提供がなく、対象者もいません)	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・朝礼や活動の終わりに、確認や共有をしています。	・細かいことでも、ヒヤリハット事案として捉え、共有・対策をしていきたいと思えます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				

